

2022年度 夏季 初学者向け臨床講読会のご案内

精神分析研究会・神戸 運営委員 辻河昌登
(帝塚山学院大学大学院・KIPP 天満橋心理オフィス)

精神分析研究会・神戸では、2021年度から初学者向けの臨床講読会を開催しています。精神分析的な心理療法の訓練には、知的学習、スーパーヴィジョン、個人分析（教育分析）といった三つの柱があります。その知的学習の機会の一つとして、この臨床講読会をご活用いただければと思います。文献は精神分析臨床のみならず、心理臨床の全般に関する実践的で、初学者にも理解しやすい本を取り上げます。職場ではディスカッションできる仲間がいない方もおられると思いますので、この会では同じ心理臨床を学ぶ仲間として、メンバー間で支え合いながら、相互的ならびに互恵的な学びができればと期待しています。

下記の事項をご参照の上、奮ってお申し込みください。

対象：2022年度の「精神分析研究会・神戸」の精神分析セミナー参加者ならびに参加者が推薦する医師、臨床心理士、公認心理師、臨床心理系大学院生など20名程度。
(精神分析セミナー参加者を優先します。自称初学者も歓迎しますが、応募者多数の場合は臨床経験の浅い初学者を優先します。)

日時：月曜（6/27、7/4、11、18、25） 20:30～21:30（オンライン開催）

文献：東大病院こころの発達診療部（編著） 岩崎学術出版社
『成人の発達障害の評価と診断—多職種チームで行う診断から支援まで—』

本書はTwitter上でも話題の良書で、発達障害を疑われる成人の一人ひとりについて、子どもの頃からの特徴を発達の経過に沿って丁寧に把握するなど、支援の前提となる包括的な評価と診断に重点を置いてまとめられたものです。

参加費：夏季（5回分）セミナー参加者 2,500円、セミナー参加者以外 4,500円

申込要領：「精神分析研究会・神戸」のホームページ <https://bunseki-kobe.com>にある申し込みフォームからお申し込みください。

申込締め切り：6月19日（日）